

しずおか健康長寿財団では、高齢者の生きがいづくり、健康づくりなどを目的に会員を集い、いろいろな催しをとおして、新しい仲間とのふれあい、新しい知識の取得、思い出づくりなど、会員相互の交流促進や気軽に外出できる機会を提供する「はつらつネットふじのくに」を開催しています。

この度、令和2年10月1日(木)「金谷歴史散策～諏訪原城跡へ～」と銘打った史跡めぐりの研修旅行を行いました。



[JR金谷駅に集合し体温チェックも](#)



[金谷坂に向かって出発](#)

雨上がりの爽やかな秋日和の中、島田市のJR金谷駅に集合した16名の会員さんと財団スタッフは、二人のかなや観光ボランティアガイドの方の案内で、国道473号線ルートで旧東海道の金谷坂石畳に向かって出発しました。
なだらかな坂道を登っていくと、程なく右側に金谷坂石畳の入り口が見えてきました。



[集合写真をパチリ](#)

江戸時代、金谷坂は急坂な上に粘土層だったこともあり、雨が降るとぬかるみ、大名行列や旅人は大変苦勞し、その対策として「山石」を敷き詰めて石畳が出来ました。
明治以降、一時舗装されたこともありましたが、平成3年(1991年)、旧金谷町民の方達が町おこし事業として「平成の道普請・町民一人一石運動」により現在の430mの石畳が復元されました。



[すべらず地蔵尊](#)



[石畳を一步づつ踏みしめて 1](#)



[石畳を一步づつ踏みしめて 2](#)

前日の雨で、滑りやすい箇所もありましたが、健脚の皆さんは難なくクリアして、途中にある「すべらず地蔵尊」に無病息災・健康長寿・家内安全などを祈願して金谷坂石畳を登り切りました。



[無事に石畳の坂を踏破](#)



[“明治天皇もここから富士山を眺められました”](#)

そして、諏訪原城跡入口にある諏訪原城ビジターセンターに到着しました。

諏訪原城跡は島田市菊川にあり、国指定の史跡で、平成29(2017)年には「続 日本100名城」にも選定されている武田流築城術を駆使した壮大な山城跡です。

これだけの大きな遺構が現存した城跡は他に類を見ない日本一の規模で、去る9月27日(日)には、島田市が山城マニアでも有名な落語家春風亭昇太師匠を応援隊長に任命し、『諏訪原城応援隊結成記念イベント』を開催しました。

「この模様は、財団ホームページ内「健康いきいき心ときめき」の「地域耳より情報」をご覧ください」

[春風亭昇太隊長が諏訪原城跡にやってきた。](#)

一息つくと、早速かなや観光ボランティアガイドの大村さん班と杉本さん班の二班に分かれ、往時の足軽兵になった思いで諏訪原城跡に乗り込みました。



[諏訪原城の本曲輪目指して行軍開始](#)



[この馬出門も実はこんな仕掛けが・・・](#)

丸馬出(まるうまだし)と云われる三日月堀や曲輪(くるわ)など、あちこちに散在する武田流の叡智溢れる仕掛けに頷きながら本曲輪まで到達すると、大井川や晴れたら富士山も眺められるという素晴らしい高台からの眺めに一同感激。



[本曲輪から大井川方面を望む](#)



[本曲輪を後にして](#)

今は茶畑や雑木林になっているエリアを含め、なんと広大な山城だったんだらうと、廻ったのはほんの一角だけでしたが、その歴史的建造物としての価値が分かったような気がしました。そして、諏訪原城ビジターセンターにあるジオラマ模型で更にその感を強くしました。



[合戦の様様をジオラマ模型で再現](#)

参加された女性会員からは、「金谷歴史散策コースは初めて参加しましたが、石畳は思っていたより大丈夫だったし、気持ちよく歩けました。」又、「諏訪原城跡は思っていた以上に広く、本曲輪の高台からの眺めが素晴らしく、その当時は大井川がもっとお城のそばを流れていたことも知り、遠くに蓬莱橋も見つけられ楽しかったです。」との感想を持たれた方も。更に、お城巡りが趣味という男性会員さんからは「全国の城を見て歩いてますが、諏訪原城跡も何回も来ていて興味深いです。」とガイドさんより詳しい位に話してくれた方もいらっしゃいました。

それぞれの金谷路や諏訪原城跡への想いと共に、彼岸花とススキの穂が見送ってくれている旧東海道をゆっくり下り研修旅行を終了しました。



[ススキや彼岸花のお見送り 1](#)



[ススキや彼岸花のお見送り 2](#)

私は4月からの新米特派員ですが、例年このような研修旅行にはもっと多くの会員さんが参加されていたようです。
コロナウイルス感染拡大の収束状況がまだまだ定かでない今ですが、「はつらつネットふじのくに」の次回の行事にはもっと多くの方が参加されるよう期待したいと思います。

□「はつらつネットふじのくに」の問い合わせや入会申し込みは下記のとおりです。

公益財団法人しずおか健康長寿財団
tel 054-253-4221

又は

[財団ホームページ](#)、[はつらつネットふじのくに](#)に[会員募集](#)をご覧ください。

取材：志太・榛北地区担当 生きがい特派員 宮島克実